

一般社団法人日本蕎麦協会
全国そば優良生産表彰事業 2次審査調書

<記入見本>

提出日	令和 ○○年 ○○月 ○○日
年産 (いずれかに☑)	<input checked="" type="checkbox"/> 令和4年産 <input type="checkbox"/> 令和3年産
種別 (いずれかに☑)	<input type="checkbox"/> 農家 <input checked="" type="checkbox"/> 集団
ふりがな 氏名・集団名	農事組合法人日本蕎麦協会
代表者役職	代表理事組合長 <small>※農家の法人組織で公表資料等への記載を希望しない場合は記入しなくて結構です</small>
ふりがな 代表者氏名	そば たろう 蕎麦 太郎 <small>※農家の法人組織で公表資料等への記載を希望しない場合は記入しなくて結構です</small>
住所・所在地	〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-4
連絡先	電話：03-1234-5678 携帯：090-1234-5678
調書記入責任者連絡先	名称：蕎麦市役所 部署名：農政部農政課 担当者名：蕎麦 二郎 電話：03-1234-5678 携帯：090-1234-5678 電子メール：sobajiro@sobacity.jp

※種別が「集団」の場合のみ下記をご記入ください。なお、別添資料として、定款・規約をご提出ください (PDF等のデータにて)。

設立年月日	昭和 60年 4月 1日
設立の趣旨	当該地域の耕作放棄地の活用のため、蕎麦栽培等の受託を行うため、設立した。
設立後の推移	昭和60年 4月 設立 平成 5年 4月 受託面積を拡大 (10ha) 平成10年 4月 受託面積を拡大 (20ha) 平成18年10月 ○○○賞受賞
集団活動としての特色	<ul style="list-style-type: none"> ・機械の共同利用などにより、コスト削減と労働生産性の向上につなげている。 ・地域の耕作放棄地の有効活用に結び付き、地域貢献に結び付いている。 ・「○○そば祭り」を地元自治体と共同で開催し、生産したそばの消費拡大を図っている。

①概況

構成農家戸数（戸） （集団のみ記入）	専業農家	兼業農家 （第1種）	兼業農家 （第2種）	計
	10	5		15
経営耕地面積（a）	田	畑	その他	計
	1000	3000		4000
そばの作付面積（a）	田	畑	その他	計
	1000	1000		2000
専業・兼業の別（いずれかに☑） （農家のみ記入）	<input type="checkbox"/> 専業 <input type="checkbox"/> 第1種兼業 <input type="checkbox"/> 第2種兼業			
後継者の有無（いずれかに☑） （農家のみ記入）	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			
農業従事者数 （農家のみ記入）	総数		内・そば栽培従事者	

②立地条件

県内における位置	・当該ほ場の県内におけるおおよその位置を記入してください。
地域の概況 （標高・地形・土壌・基盤整備・排水等）	・地域の概況、特徴について簡単に記入してください。
栽培ほ場の特徴	・排水性や傾斜、特殊な土壌などについて記入してください。
その他	・その他特記事項があれば記入してください。
地域の気象条件 （平均気温・降水量等）	・平均気温、降水量の他、日照等について記入してください。
そばの生育に影響したと 考えられる条件	・台風など当該年のそばの生育に影響した条件を記入してください。

③そば栽培

品種名	作付面積 (a)	収穫量 (kg)	食用	種子用	くず粒	単収 (kg/10a)
			(kg)	(kg)	(kg)	
キタワセソバ	2000	15,000	11,000	3,000	1,000	75
合計	2000	15000	11000	3000	1000	
作付面積および単収の推移 (当該年産と過去2年間)	年産	作付面積 (a)	単収 (kg/10 a)	播種様式・条間 (cm)	単収増減の理由	
	当該年	2000	75	条播・10		
	前年	2000	50	条播・10	台風による倒伏	
	前々年	2000	65	条播・10		
作付体系	田	そば～小麦～そば				
	畑	そば～小麦～そば				
そばの品質 ※種子の場合は等級の ところに「合」を記入	品種名	等級	備考			
	キタワセソバ	1				
そばの出荷	出荷先					割合 (%)
	JA〇〇					80
	地元蕎麦店					20
	収穫量のうち出荷量の割合					100
出荷量のうち契約出荷の割合					80	
経営における そばの位置づけ	内容	粗収益 (円)		単価・備考		
	玄そば販売	3,730,000		平均 14,850円/45kg		
	種子販売	0		平均 0円/45kg		
	そば粉販売	5,184,000		平均 2,400円/kg		
	交付金	646,000				
	計			対経営全体比 : 80%		

④作業別労働時間・機械化の現状

作業名	作業期間	使用機械等	所有 (個人・共同等)	労働力 (人)	作業時間 (分/10a)	備考	
排水・溝堀	7/28～ 8/4	トラクター 溝堀機	個人	1	20		
元肥散布	8/5～ 8/17	播種同時施肥機 ブロードキャスター	共同	1	25		
耕起	7/25～ 7/27	トラクター ロータリー耕	個人	1	20	深度：10cm	
整地	-	-	-	-	-		
播種	8/5～ 8/17	ドリルシーダー	個人	1	20	播種量：5kg/10a 播種様式：条播	
防除	9/20～	動力噴霧器	共同	1	30		
追肥	-	-	-	-	-		
中耕	-	-	-	-	-		
除草	9/20～	草刈機	個人	1	30		
培土	-	-	-	-	-		
収穫	11/1～3	汎用コンバイン	個人	1	30	黒化率：70%	
乾燥	11/1～3	J Aに委託	-	-	-	乾燥方法：通風	
調製・袋詰等	11/4～	J Aに委託	-	-	-		
					計	175	2.916666667

⑤生産費

費用		金額 (円/10a)	費用の内訳
物 財 費	種苗費	4,000	種子購入
	肥料費	4,500	そば専用有機肥料〇〇 3,000円/20kg 30kg/10a使用
	農業薬剤費	1,500	〇〇〇〇 1,500円/500ml 500ml/10a使用
	光熱動力費	5,000	
	諸材料費	500	袋代、検査手数料
	土地改良 ・水利費	0	
	賃借料 ・料金	8,000	収穫委託費 8,000円/10a
	租税公課	2,000	
	建物費	2,500	
	農機具費	8,000	
生産管理費	0		
労 働 費	自家労働	6,000	@ 1,500 円/時間×4.0 時間/10a
	雇用労働	0	@ 円/時間× 時間/10a
計（費用合計）		42,000	

※費用の分類は農業経営統計調査（生産費調査）の費用分類を参考にしてください。

⑥技術上の工夫

(例) 排水対策・湿害対策・倒伏防止策・地力維持・種子更新実施・優良品種導入・乾燥、調整方法など

・技術上の工夫について、特に力を入れていることを記入してください。

⑦経営上の特色

(例) 機械化推進・作業効率化・コスト低減・作付体系・契約栽培・地域活性化・6次産業可化など

・コスト削減や地域への貢献等、生産者の特色ある経営について記入してください。

⑧今後の課題

(例) 次年度以降の作付計画・技術改善・経営改善等

・次年度以降の作付の拡大や技術・経営上の改善について予定・計画していることを含め、記入してください。